



地域住民の生命を守る沼津市立病院への支援に関して、 厚生労働省に要望します

要 旨

沼津市立病院は、昭和63年に現在の位置に移転し、平成16年に救命救急センターを開設、平成19年にドクターヘリのためのヘリポートを設置するなど、地域住民の生命を守る基幹病院として、その責務を果たしてまいりました。しかしながら、昨今の物価高騰等の影響により大変厳しい状況に置かれ、病院の経営は、市の一般財源からの繰入金に頼らざるをえないのが実情です。

引き続き、地域住民の生命を守る基幹病院としてみなさまの期待に応えていけるよう、沼津市立病院への支援を厚生労働省に要望します。

概 要

- 1 名 称 「沼津市立病院への支援に関する要望について」
- 2 日 時 令和7年12月12日(金) 午後3時30分～
- 3 要 望 先 厚生労働大臣政務官 栗原 渉 氏(予定)
- 4 参加予定者 頼重 秀一市長、梶 泰久市議会議員、尾藤 正弘市議会副議長
勝俣 孝明衆議院議員
- 5 要 望 事 項 急激な物価、人件費などの高騰を踏まえた診療報酬の改定
医師の不足・地域間偏在の抜本的な解消に向けた対策及び財政措置
地域医療構想について、地域の実情を踏まえた必要な支援
地域医療介護総合確保基金について、地域の実情に応じた配分及び
将来に渡る財源確保

お問い合わせ先

沼津市立病院 経営改善室

直通：055-924-5100(代表)



沼津市立病院

NUMAZU CITY HOSPITAL